

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

平成31年1月22日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地												
国際ホテル・ブライダル 専門学校	平成16年1月16日	岡田 茂久	〒950-0914 新潟市中央区紫竹山6丁目3番5号 (電話) 025-210-5600												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地												
学校法人国際総合学園	昭和32年10月10日	池田 弘	〒951-8063 新潟市中央区古町通二番町541 (電話) 025-210-8565												
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士										
文化・教養	文化・教養専門課程	葬祭ディレクター科		平成27年文部科学省 告示第13号	—										
学科の目的	本学科は葬祭に関する専門教育を行い、高度な専門技術、技能を修得させ、ホスピタリティ精神溢れる有為な人材の育成・輩出を通じ、地域社会、国家、国際社会の発展に寄与・貢献することを目的とする。														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技								
2年	昼間	1757時間	814時間	422時間	521時間	0時間	0時間								
単位時間															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数										
40人	20人	0人	6人	16人	21人										
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験、レポート提出、出席評価											
長期休み	■夏期休業日:8月1日～8月31日 ■冬期休業日:12月20日～1月10日 ■春期休業日:3月1日～4月10日		卒業・進級 条件	・カリキュラムに定められた授業科目を全て修了すること。 ・所定の学費、実習費等の完納。											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長期欠席者への指導等の対応(有) ・メンタルヘルス対応としてのカウンセリング制度(有)		課外活動	■課外活動の種類 ・ボランティア活動(イベント、募金活動、献血 他) ・地域行事への参加(祭事、スポーツイベント 他) ■サークル活動: 無											
就職等の 状況	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 葬祭業界		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)											
	■就職指導内容 ・面接指導 ・履歴書添削指導 。業界人講和 ・OBOG講和 ・学内企業説明会開催 他			<table border="1"> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> <tr> <td>葬祭ディレクター技能審査</td> <td>②</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	葬祭ディレクター技能審査	②	10人	10人
	資格・検定名	種別		受験者数	合格者数										
葬祭ディレクター技能審査	②	10人	10人												
■卒業者数 10人 ■就職希望者数 10人 ■就職者数 10人 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 : 100%		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)													
(平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日 時点の情報)		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等													
中途退学 の現状	■中途退学者 1名 平成29年4月1日時点において、在学者20名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者19名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 ・学費の問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 ・定期的な個別面談 ・転科やコース変更の実施 ・産業カウンセラーによるカウンセリング		■中退率 5%												
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・「NSGカレッジリーグ無利子奨学制度」家計の事情により就学が困難と思われる学生に奨学金を貸与し就学の便を図る制度(年額30万円) ・「NSGカレッジリーグ母子・父子家庭奨学制度」母子家庭、父子家庭の事情により、学費の準備が困難と思われる学生に対し、奨学金を貸与し、就学の便を図る制度(入学時手続き金を貸与) ・「NSGカレッジリーグ災害奨学融資制度」地震水害雪害台風などの災害に合い、学費の準備が困難な方に対し学費を貸与することで、就学の便を図る制度(500万円以内で、学校に納付する学費の総額を限度に貸与)														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)														
当該学科の ホームページ URL	http://www.wish-web.com/index.html														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

葬祭ディレクター科では、葬祭業界において活躍できる人材の育成を目指しています。現在、この業界を取り巻く環境ではお客様とのコミュニケーション、ホスピタリティ溢れる議場が不可欠となっております。葬祭ディレクター科ではこれらに必要な知識と技術の向上を目指すようなカリキュラムの構成となっております。

また習得した技術や知識を活かし、求められる人材の育成を図るとともに、演習での新しい発見から、将来の目標に向けて意識を高めることができるように、葬祭業界といった企業とも綿密な連携により、より実践的な職業教育の質を高めるために企業から講師を招いた授業を展開しています。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会の意見はカリキュラム検討会議で意見交換審議された後、校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
齋藤 毅	新潟県葬祭業協同組合 理事長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
渡辺 安之	株式会社花安新発田斎場 常務取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
平原 法子	国際ホテル・ブライダル専門学校 副校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
馬場 秀憲	国際ホテル・ブライダル専門学校 主任	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
川瀬 五夫	国際ホテル・ブライダル専門学校 非常勤講師	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月予定)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年1月26日(金) 14:30～16:15

第2回 平成30年3月8日(木) 13:30～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

教育課程編成委員会の意見を受け、授業科目ごとに既存のカリキュラム内容や進め方の改善点を洗い出し、改善を図っている。

・「インターンシップ」について、現在、葬儀インターンシップの期間が1週間から10日ほどとなっているが、受入れ期間中に葬儀がない場合、仕事のイメージがつかめない場合がある。インターンシップの時期や期間の見直しが課題。

・「カリキュラム」について、将来をイメージさせるために、企業見学やインターンシップ以外で業界や現場に触れる機会を増やしていく。また、カリキュラムのゴールを「資格取得」と「就職」とするのではなく、自分のキャリアプランを考えた5年後、10年後の姿を見据えた仕組みづくりが必要。

・「学生指導」について、専門知識以外に必要なこととして、社会人として基本的な「上司との信頼関係づくり」や「メモを取る、挨拶をする」などの行動が取れる人材の育成を目指すこととする。

・「就職支援・業界の人材確保策」として、葬儀社が学生の様子を見に来たり、業種限定の企業説明会を開くなど、学校と企業が連携して行なうことを今後検討していく。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校におけるインターンシップは、学生自らの専門分野、将来のキャリアとしたい分野に関連する企業等での就業体験をすることによって、仕事をする意味を認識し、自らの適性をみつつめながら将来像を選定することにより、専門学生としての実学を身につけ、有能な「人財」として活躍できる人材育成を目指す。学生は異なる体験をすると同時に、実社会での研修であることにより、責任感、自分の役割やレベルなどを実感し、自らのキャリア形成について、具体的なイメージを描くようになることを目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

①「インターンシップ研修」

事前に企業とインターンシッププログラムの内容を協議し、実施する。学生を教育的視点で受け入れられる企業等を求め、その企業と本校の協力により、一人前の社会人を育てる社会の場として位置づける。1年次7～8月の約8週間ホテルなどで実施。提携先は毎年35社程度。「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の社会人基礎力を中心に研修終了時に企業から評価を受ける。12月の1週間から10日葬儀社にて実施。スタッフから葬儀現場を体験させてもらうことで、希望職種への理解を深める。

①「学内での実習」

葬祭企業で必要とされる知識、技術、技能を習得するために、業界人を講師として実践的な職業教育(「業界セミナー」「司会実習」「納棺実習」「接遇・受注実習」「幕張・祭壇設営実習」など)を実施している。授業終了時には制限時間一人ひとり発表するなどして評価を受ける。

科目名	科目概要	連携企業等
納棺師	ご遺体の処理から納棺までの知識と技術を実践で学ぶ。	有限会社 花久葬祭
業界セミナー	業界の動向や求められる人材について学ぶ。	株式会社 花安新発田斎場
司会実習	式典(通夜・葬儀)の運営や進行方法、宗教による違いを学ぶ。	豊栄セレモア株式会社
接遇・受注(受注施行)	ご遺族の想いを聴く姿勢や心得を学ぶ。	豊栄セレモア株式会社
葬祭フラワー	生花祭壇の設営方法やアレンジの方法を実践で身に付ける。	アトリエ モーイ ブルーム

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

国際ホテル・ブライダル専門学校「研修等に係る諸規程」に基づき、本校の教員は専門分野において、最新の実務の知識・経験を教育内容・教育方法に反映した教育を行うことが期待されている。そのため、法人本部及び外部機関と連携し、全教員が学生指導力向上のために各自「教員資質」、「能力」、「専門力」を高めるよう務めなければならない。社長及び上長は企業等で実施される研修情報を収集すると共に、各教員の経験、スキル、能力を勘案し必要な研修への参加を命ずる。また外部講師を招いた学内研修も計画的に実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 尊厳死セミナー 」(連携企業等: (一社)日本尊厳死協会)
期間:平成29年6月6日(火) 対象:葬祭専任教員
内容:穏やかに生き抜き穏やかな終末期を迎えるためのセミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 教育コーチング研修 」(連携企業等: (一社)全国専門学校教育研究会)
期間:平成29年8月23,24日(水木) 対象:全教員
内容:対話のある授業や相談活動に活かせる学習支援に友好的メソッドの体得

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 葬祭業界のやりがい、業界から求められる人 」(連携企業等: 新潟県葬祭業界共同組合)
期間:平成30年10月10日(水) 対象:葬祭専任教員・就職担当者
内容:今、葬祭業界ではどのような人が求められているのか、業界での仕事内容、従事者の平均年齢、離職率などを通じて講演

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 実践行動学の原点を確認し、さらに良いものにするために 」(連携企業等: 実践行動学研修所)
期間:平成29年8月30日(木) 対象:全教員
内容:意欲低迷学生、留学生への対応を共通認識する

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

より実践的な職業教育にかかる活動を評価し、改善・支援することにより、学生が関係業界のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるよう学校運営の改善と発展を目指した学校評価を行うことを目的とする。学校が実施している学生向上アンケート、学生意識調査、保護者アンケート等の資料に基づく自己評価に対して、学校関係者評価委員会からの評価結果を教育活動その他学校運営の改善に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己評価報告書に対する学校関係者委員会の意見をもとに、学校運営及び教育活動に活用している。学校関係者委員会の意見、評価結果は報告書としてまとめ、教職員にも開示し意見や改善策を提案させる等を行い、対応を検討後可能なものは実施している。具体的には学校関係者委員会の提言により、「インターンシップ研修の機会提供を増やす」「インバウンド対応スキルとしての語学教育の強化」「ボランティア活動の積極的推進」「外部企業や地域連携事業の推進」等が検討、実施されている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
五十嵐 芳則	新潟日米協会 幹事・事務局長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	業界団体関係者
五十嵐 慶二郎	ホテルイタリア軒 営業部 課長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.wish-web.com/index.html>

公表時期:平成30年10月1日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・教育機関として、その教育活動や取り組みについて企業等へ説明責任を果たす。
- ・教育活動等の情報公開を通じて、本校の教育の質的向上を図る。
- ・学校全体の状況は把握できるような情報を提供することで、関係業界等との連携・協力による本校の教育活動の改善や、本校に対する社会全体の信頼を得る。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標
(2) 各学科等の教育	学科・コース紹介
(3) 教職員	講師紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	長期インターンシップ、就職サポート・業界で活躍する卒業生
(5) 様々な教育活動・教育環境	キャンパスライフ
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	入試・学費について、各種奨学金・教育ローン
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	学校自己評価報告書、学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	キャンパスライフ 海外研修旅行
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.wish-web.com/index.html>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	タカハシ カオリ	所属部署	教務部
	氏名	高橋 香織	役職名	部長
	所在地	〒950-0914 新潟市中央区紫竹山6-3-5		
	TEL	025-290-5600	FAX	025-290-5601
	E-mail	takahashi.kaori@nsg.gr.jp		

(備考)

- ・用紙の大きさは、日本工業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

(職業実践専門課程 葬祭ディレクター科) 平成30年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアデザインⅠ	コミュニケーション力や協調性などの基本的な事柄を身につけます。他者との交流を通して職業観の育成につながる学校行事(入学オリエンテーション、合宿、運動会等)も含む。	1通	210	○			○	○			
○			キャリアデザインⅢ	コミュニケーション力や協調性などの基本的な事柄を身につけます。他者との交流を通して職業観の育成につながる学校行事(球技大会、学園祭、地域スポーツ観戦等)も含む。	2通	105	○			○	○			
○			就職対策	専門業界の動向や様々な企業を研究、分析し、就職活動に向かって準備を整えます。一般常識やクレペリン、論文の書き方等を練習します。また、企業に合った面接内容を個別に練習します。	1通	75	○	△		○	○			
○			ビジネス実務Ⅰ	企業訪問の仕方や実際の試験に向けてのグループ・個別面接等を研究します。また、社会人として必要なマナーも習得します。	2通	50	○	△		○	○			
○			ビジネス実務Ⅱ	メール送信の仕方や電話対応など、社会人として必要なマナーも習得します。	2通	20	△	○		○	○			
○			業界セミナー	県外から葬祭業界で活躍する方や人事担当者などを招き、業界のトレンドや求められる人材等についてセミナーを開催します。	1後・2前	10	○			○	○		○	
○			実践行動学Ⅰ	学生生活のスタートラインに立ち、自己の振り返りから目標設定を行います。また期の途中では、自らの成長を確認します。	1前	20	○	△		○	○			
○			実践行動学Ⅱ	学校で学んできたことをベースに、自身や希望をもって次のステップ(就職)に臨んでいくための意欲・意識付けを行います。	2前	10	○	△		○	○			
○			コミュニケーション	あらゆる場面でよりスムーズなコミュニケーションをとる為の技術を身に付け、初級検定を受験します。	1前	20	○			○	○			
○			ホスピタリティ	おもてなしの心をテーマに、サービススタッフとして不可欠な「心配り」を、事例を交えて学びます。	1通	10	○			○	○			

○		ソフトウェア活用実習Ⅰ・Ⅱ	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要な、パソコンスキルを学び、Word検定、Power Point 検定を受験します。	1通	45		△	○	○	○	○		
○		ソフトウェア活用実習Ⅲ	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース操作のスキルを学び、Excel検定を受験します。	2通	30		△	○	○	○	○		
○		実用英検対策	正しい英語を使える力を、総合的に判断する、業界でも評価の対象となる検定です。レベルに分かれて学習します。	1通	45		○		○	○	○		
○		英会話	正しい英語を使える力を、総合的に判断する、業界でも評価の対象となる検定です。レベルに分かれて学習します。	2前	40		○		○	○	○		
○		海外研修	現地のホテル、ブライダル、葬祭施設の見学や講義、業務の体験を通じて国際交流、異文化理解につなげる。	1後	30		○		△	○	○		
○		パーソナルカラー	衣装やフラワー、空間のコーディネート等、幅広く活用できる色彩・配色調和の基本を学び、検定3級を受験します。	1通	35		○		○	○	○		
○		料飲サービスⅠ(実習)	サービス、ランナー、デシャップ含め、レストランや宴会場、披露宴会場でのサービスに必要な技術、立ち振る舞いなどを身に付けます。	1前	20		△		○	○	○	○	
○		料飲サービスⅠ(実務)	料飲施設の種類や業務内容・1日の流れ、西洋料理のコースの流れや什器食器備品について、サービスのロールプレイ等も交えて学ぶ。	1前	10		△		○	○	○		
○		ホテル概論Ⅰ	ホテルの発生や歴史、組織、業務等、ホテルスタッフとして必要な基礎知識を学びます。	1通	10		○		○	○	○		
○		フラワーアレンジメント	フラワーアレンジメントの基礎技術を学び、簡単なブーケやテーブルフラワー等を作製します。	1後	10				○	○	○		
○		センスアップセミナー	ウォーキング・メイク・話し方等、就職活動を始める前に、多方面からセンスを学びます。	1通	15				○	○	○		
○		イベントプロデュースⅠ	お客様や業界のニーズに合ったイベントやプランを、テーマに合わせて企画・提案し運営する力を養います。	1通	70				○	△	○	○	
○		イベントプロデュースⅡ	葬祭のイベントを中心に学習・研究し、オリジナルなイベントを企画・制作し、発表します。	2通	110				△	○	○	○	○
○		インターンシップ研修	国内外のホテルで、プロの現場を体験しながら、サービス業に対する理解を深めます。	1前	230				○	○	○	○	
○		卒業制作	2年間の学びの集大成として、顧客ニーズにあったサービスや提案を調査研究してまとめ、プレゼンテーションします。	2通	135		△	○	△	○	○	○	○
○		和装着付けⅠ/葬儀営業	男子は電話での受注・遺体の搬送・火葬場での業務について、女子は着物の着付けの技術を学びます。	1前	15				○	○	○	○	
○		葬儀概論Ⅰ	葬祭スタッフから仕事内容ややりがい、必要な知識やスキルを学び、自分が業界でどんな仕事をを目指すのかを学びます。また、葬儀の一般的な流れと必要な業務について学びます。	1通	75		○		○	○	○		

○		葬儀概論Ⅱ	変容する地域社会や家族問題、葬祭業に求められる社会的責任と役割や宗派における歴史や文化、風習を学ぶ。	2通	70	○		○		○	○		
○		葬祭ディレクター検定対策講座	葬儀の歴史や宗教、法規・税務、葬儀の風習を問う学科試験と、接遇・司会技術、幕張技術等を問う実技試験で構成される葬祭ディレクター技能審査2級の検定対策授業です。	2前	60	△		○	○		○	○	
○		祭壇設営・幕張	自宅飾りを基本とした祭壇の設営や幕張を実践で学びます。	2前	30					○	○		○
○		司会実習	式典の運営や進行方法、宗教・宗派による違いを学びます。	2前	30	△				○	○		○
○		接遇・受注(受注施行)	ご遺族の想いを聴く姿勢を学びます。	2前	30	△				○	○		○
○		公衆衛生学・納棺師	ご遺体からの感染症やご遺体の処置に関する知識・ご遺体の着せ替え方を学びます。	2前	20	○				○			○
○		葬祭フラワー	生花祭壇の設営方法やアレンジの方法を実践で身に付けます。	2後	10					○	○		○
○		法規・税務	葬儀に関わる法規や葬祭業における税務の基礎を学びます。	2通	10	○				○			○
○		葬祭マーケティング論	市場の動向を学ぶことで、お客様のニーズや求められる知識、スキルを身に付けます。	2前	30	○				○			○
○		葬儀	葬儀後のアフターサービスに必要な知識として、相続・遺言・尊厳死について学びます。	2後	15	○				○			○
○		プランニング	葬儀の事前相談のケーススタディを行い、遺族のニーズや企業の取り組みを学びます。	2後	10	○				○			○
合計				38 科目	1770	単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
カリキュラムで定められた授業科目を全て修了していること。必修1770時間。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。